

「高洲震災モニュメント」を考える集い 発言録

目次

| | |
|--------------------------|--------|
| 1. 主催者、ファシリテータ挨拶 | 1 ページ |
| 2. 高洲の貯水槽状況と原因究明、および問題提起 | 2 ページ |
| 3. 上記、質疑応答と市の見解 | 8 ページ |
| 4. モニュメント設立の説明プロセス | 13 ページ |
| 5. 今後について | 22 ページ |

注) 個人名は省略。議員名は表示。浦安創生ネットメンバーは USN-X で表示しています。数字等に関しては聞き違いの可能性のあることをご了承ください。訂正などあればメールでご連絡ください。

【1. 主催者、ファシリテータ挨拶】

USN-A/皆さんこんにちは。今日は「高洲震災モニュメント」の市民の会にご参加ありがとうございます。主催者より簡単に挨拶をします。私たちは浦安創生ネットという団体で活動しています。今年の 3. 11 より活動しています。浦安を住みよい街にするために、市民が色々と話ができる場が出来ればと思い発足しました。皆さんからいろんな意見を聞いて、市民として一緒に街をつくっていくことが目的です。では早速、今日前半の司会をやってもらうファシリテータの B さんにバトンタッチします。

USN-B/三連休の最終日にご参加、ありがとうございます。私が今日の司会進行を担当します。化学繊維会社に 30 数年勤め、今は大学の教員をしています。私は今日ファシリテータ、モデレータとも言いますが、を務めます。皆さんせっかく来られたので一人でも多くの貴重な意見を引き出して、この会を盛り上げるのが最大の使命です。

今日はモニュメントの賛否というよりも、モニュメントの地下にある水槽と市民への手続きについての情報提供や、意見交換を中心にした。あまり思い込みをきつくせずいろんな意見があるということで、何か気付き学びの場になればいいなと思い、そういう意見をできるだけ引きだそうと思います。では進めます。よろしくお願いします。

- 1 最初に町名・お名前をおっしゃってください。
- 2 発言は独り占めにならないよう簡潔（2分以内）に要旨をどうぞ。
- 3 発言は極力建設的で前向きな表現をお願いします

ディスカッションの3つのルールということで、まず、最初に、町名と名前を言ってください。それから、発言は一人の人が長くなると他の人がしゃべれないので、2分以内で話してください。テレビでは1分以内でやっています。1回2分で切ってください。

モニュメントなんてどうでもいい、もっと大事な問題がある、と様々な意見があると思いますので、いろんな意見を引き出したい。そういう意味で、できるだけ多面的に前向きで建設的な意見をだしてください。

まず意見を、と言っても出にくいので最初に浦安創生ネットから現状のモニュメントについて調べた最新情報と原因究明・論議するうえでの視点、問題提起をCさんから。

【2. 高洲貯水槽の状況と原因究明、および問題提起】

「高洲震災モニュメント」を考える

1. 飲料水兼用耐震性貯水槽とは？
2. 考える上での視点

* 関係者・専門家・カタログ・ブログ・ツイッター等から得られた情報に基づいて

2012年11月25日 浦安創生ネット

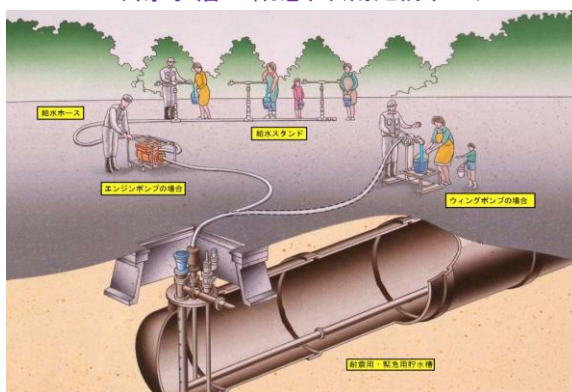
USN-C／よろしく申し上げます。私は建築家で建築はひととおり経験があるが今回の貯水槽の専門家ではないので、関連資料を見たり、皆さんのブログやツイッターなどのなかで確かと思われるものを使って組み立ててみました。

1. 飲料水兼用耐震性貯水槽とは？ (状況把握)

- 1) 貯水槽の概念図
- 2) 貯水槽の標準構造
- 3) 貯水槽の工事と工事費
- 4) 浦安市内の貯水槽

最初に、耐震性貯水槽について。一般に「震災モニュメント」と呼ばれているが、正式には「飲料水兼用耐震性貯水槽」です。これについて私なりに整理し、皆さんの検討材料にして頂きたいと思います。それでは、まず貯水槽の概念などについて話します。その上で、貯水槽以外の基礎工事などを含む「全体の工事」がどういうものか、ひとつお確認したいと思います。

1) 貯水槽の概念図(南足柄市HP)

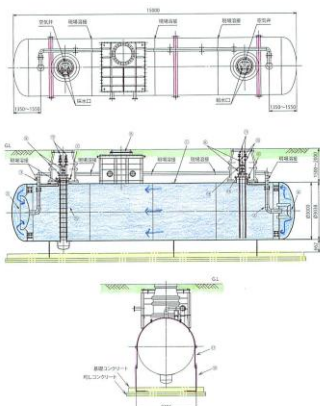


まず、貯水槽の概念図です。これは南足柄市のHPに出ていたものですが、どのような形でどういう役目をするのか説明している。うすい茶色い部分が土のところで、このところが表層です。そしてこのマンホールの形をしたものがコンクリート製で、その下が水をためる貯水槽です。この貯水槽は鉄、つまり鋼板で作られていて、高洲のものは 100 m³、つまり 100t の容量であった。鋼板の厚みは約 2 センチ、受水槽の高さは 3 m あり潜水艦みたいなもの。

その中に水がいっぱい貯まっている。道路下に敷設されてある水道管から、こちらから流れてきた水がこの水槽の中を通過して、こちらを抜けてまた水道管に戻る。地震が来ると、入り口が閉められて、水槽は独立し、こちらの水道管が壊れても抜けていかない。エンジンポンプなどを接続すると、この絵のように飲み水として使えるようになっている。実は、この貯水槽は本来、防火貯水槽で消防活動用のもの。それを飲用にも兼用しているので「飲料水兼用」と呼ばれている。

2) 貯水槽の標準構造 (コスモ工機の例)

- * 耐震性(震度7)
- * 地下水揚圧対策
- * 容量: 40・60・100m³
- * 100m³ = 3ℓ/人 × 3日 × 11,100人
- * メーカー: コスモ工機、JFEエンジニアリング(川崎製鉄)、クボタなど



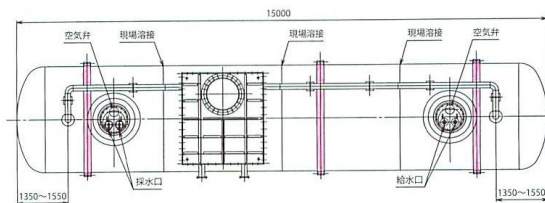
高洲に作られたものはこういうもの。コスモ工機のものだが、土中のこの部分が基礎になっている。断面図で青色は水。これが地表にのしあがった部分。マンホールが3カ所に出ている。鋼板でつくられた潜水艦のような部分が貯水槽、コンクリートのマンホールは、実際に持ち上がったとすると、マンホールと貯水槽の部分が外れていると思われる。

実際には、この土中にコンクリートで基礎をつくり、貯水槽側には、ここにベルト状のうすいピンク色で示している鋼板製ベルトがあって、貯水槽の腹の部分を取り、コンクリート製の基礎から伸びたボルトと3ヶ所で繋がるという形になっている。

ところで、この貯水槽の性能は、日本消防安全センターや日本水道協会などの、消防ないし水道関係の基準があり、それに対応している。注意していただきたいのは、その基準で震度7強に耐えろとか、地下水の揚圧力にも耐えろといったことが規定されているが、それは「貯水槽」のことを言っているのであって、基礎をつくったり、掘ったりするといった工事全体のことは、ここでは言っていない。そこら辺が微妙なところだ。

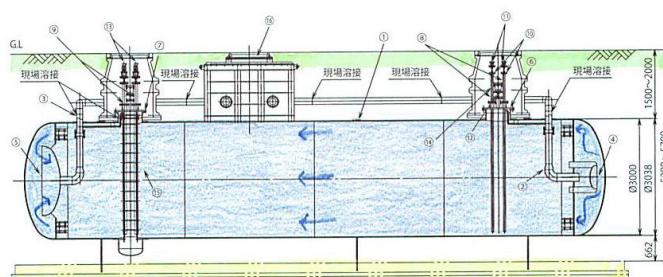
貯水槽の容量は40 m³、60 m³とか、100 m³とかがあって、100 m³の場合、1日3リットルの水を使うとして、1万1100人の人に対応できる。これらをつくっているのが、コスモ工機やJFEエンジニアリング、あるいはクボタといった水道関連専門メーカーです。

貯水槽の標準構造-上面図



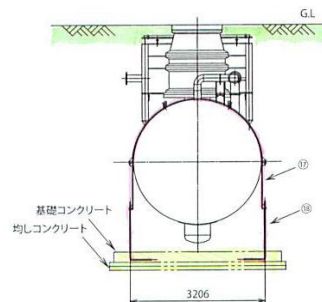
これは今のものを上からみた拡大図。上にあるのがマンホールです。

貯水槽の標準構造-断面図



これが断面図。このシステムでは、水平方向の向こうから水が入り、ここで貯水槽の中に入って右から左に流れ、左端から抜けていく。水は常に流れているので、腐ったりしないわけです。

貯水槽の標準構造-側面図



これは側面からみたものです。これが基礎で、これが貯水槽ですが、両者を繋いでいるベルトがこれです。この工事は、地盤対策工事、それから基礎工事、貯水槽本体の工事、最後の表層仕上げ工事の、大きく4つの工事が組み合わさってできている。

貯水槽本体は、実際には工場で輪切りにされた状態で作られ、現地に搬送された上で溶接されて完成する。ここまでの貯水槽専門業者の仕事。一方、地盤対策、基礎工事、表層仕上げを行うのが別の建設業者。

3) 貯水槽工事と工事費

- 工事の構成: ①地盤対策 ②掘削工事 ③基礎工事
④貯水槽 ⑤表層仕上げ
- 工事の性能: 設計仕様、④の性能、他工事の性能
- 工事費: (①~③+⑤)+④ + 工事管理費・諸経費

こういう組み合わせで「耐震性貯水槽」ができるが、この全体工事の性能を決めるのは誰かということ、設計仕様を決めるコンサルタントが先ずいる。次に、貯水槽の専門業者。それから地盤対策、基礎工事等の建設業者がいて、「工事全体の性能」は、これら関係者の役

割分担によって成り立っているわけです。このことは問題が発生した場合は、このどこに問題があったかを検証する必要があるわけです。工事費は、上記4つの工事の直接工事費に管理・諸経費が加わって構成されている。

4) 浦安市内の貯水槽

・高洲中央公園
＜写真1＞



・富岡公園
＜写真2＞



・総合公園
＜写真3＞



「浦安市内の貯水槽」を調べてみると3箇所あります。まず、高洲中央公園ですが、さっきの図のようなものがこの下にあったと思います。これは富岡の中央公園のもの。マンホールが見えている。これはほぼ問題ない状態ですが、今回使われたという報告はない。もう一つは総合公園にあって、海に向かって公園の右の管理棟のところにある駐輪場のすぐ近くにある。さきほどの断面図を模式化した図があります。100 m³のもの。

・高洲中央公園・中央公園の工事費 H7～8年(16～17年前)に設置

| 場所 | 発注先 | 工事費(千円) | 備考 |
|----------|--------------|---------|------------------------------|
| 高洲中央公園 | 山崎建設/コスモ工機 | 93,730 | 地盤改良工事は別途発注。 高洲の合計は1,21億円 |
| 中央公園(富岡) | 協和/川崎製鉄(JFE) | 64,375 | |
| 合計 | | 158,105 | |

3つの貯水槽の内、2箇所については工事費等が分かります。高洲中央公園のものは、山

崎建設・コスモ工機の工事で約 9,400 万円。基礎の下の地盤対策工事を別発注しているので、これを加えると約 1 億 2 千万になっていると思われる。富岡の中央公園のは、協和・川崎製鉄の工事で約 6,000 万円、高洲より安くできている。これらは、浦安市の資料で確認できます。ここまではひとつおとり、現在の貯水槽の概要をお話しした。次に、考える上での視点として疑問、問題点を 3 つ挙げます。

2. 考える上での視点

1) 原因究明が十分なされたか？(第三者委員会)

- ・「震度7の大震災にも耐えられる」はずが、なぜ機能しなかったか？ 液状化対策は？
- ・工事費1億2千万円強(税金)は、無駄だったのか？
- ・設計・施工・貯水槽のどこかに問題はなかったか？
- ・管理上の問題はなかったか？
- ・再発防止など今後活かす必要があるのでは？

一つは原因究明が十分なされたか。市民が納得いく説明ができているのだろうかということ。第三者委員会のようなところで調べたのか。原因をしっかりと追求したのか。基礎と本体を繋ぐベルトが切れていて、基礎は問題ないとか言われているが、実際にだれも掘っていないのにどうしてわかるのだろうか。

また、専門家に聞いてみたら、実は高洲の水はちゃんとあった。潜水艦がちょっと横になっただけなので、また出水口も大丈夫だったので、エンジンポンプをつければ使えたのではないか。もしかしたら、使い方ノウハウがなかったのではないかと。

2) モニュメント化への決定手続き(プロセス)と判断は適切か？

- ・上記の状況で、「災害で得られた教訓を後世の記憶にとどめる」意味があるか？
- ・行政は、市民・被災者の意見や感情をどう聞いたか？(情報公開、市民参加の検討会)
- ・議会で十分検討されたか？
- ・市民の請願はどう審議されたか？

2 つめは、モニュメント化への決定手続きが適切だったか、です。市民から「ストップ！」の請願が市議会に出ているが、ちゃんと議論がなされたのか。市民の気持ちや願いをちゃんと聞いたり見たりしているのか。

3) 視点を変えて: 総合的防災計画の一環として考えるべきではないか?

- ・災害時の防災拠点(小学校・公民館・防災公園)の機能と運営の見直し
- ・機能: 例えば、深井戸、仮設トイレ・かまど、テント対応のパーゴラ等の例
- ・運営: 災害時の活動は、近隣住民(自治体)が中心になることに留意→常時の管理にも参加
- ・防災拠点としての市庁舎の位置づけ

3つめは視点を変えて、これは貯水槽だけを見るのではなく、市全体の防災計画の上で考えなくてはいけないのではないかと、ということです。その地域ごとの防災拠点の機能や運営を総合的に考える観点から見なくてはならない。

こんな水槽をつくるより、深井戸をつくる方がもっと安くできるのではないかと、といった視点もある。実際に、市内の豆腐屋さんで70mとかの深井戸を掘って活用しているところもあるのです。また、仮設トイレや、常時はベンチやスツールなのに非常時には煮炊き用のかまどになるものなどがあり、一体化した防災公園のようなものを考えている自治体もある。そう考えると、ここに貯水槽だけぽんと作っているのはおかしいのでは?・・・と思います。

さらに、今回の貯水槽は16~7年前に作られたのですが、このメンテナンスの体制はどうなっていたのか。近隣住民がすぐ動いて使うことができるように、住民や自治会を取組んだ体制も考えないといけないのではないかと思います。とりあえず、私のほうからはこの3つを検討材料として提起します。ありがとうございました。

【3. 貯水槽破損の原因、質疑応答と市の見解】

USN-B/新たな視点もあったことと思います。それでは、後ろにウーロン茶、セルフサービスです。途中、休憩もします。適宜のどが渴いたかたは取ってください。前半は、モニュメントの事例について原因究明、この話を中心にやって、後半はこれからどうしたらいいのか、対策を含めこれからの話を。今の話に賛成、反対も含めて話し合いたい。では、さっきの発言のルールで、お名前を名乗ってから短めに。いかがですか。主に現状について。

／高洲3丁目です。震災の件で、非常にショックなことは、水も大変でした。私の家の前に電柱がありますが、その電柱の恐ろしさ。それをみるとゾクゾクとする。だから、都市

計画の中でこれからはそういう現状をふまえ、設計とか地域環境を考えてほしいと思います。一時は眠れなかった。そういうところを考えてほしい。

USN-B/今のは電柱の話で、モニュメントではないですね。また、後半で。先ほどの話の質問、疑問は？

/日の出です。初めてこういう所に参加します。ふだん新聞見たり署名運動に参加したりしても、実は何もわかっていないんですが、原因とか市はどう言っています？

USN-C/いま、公表されている話では、総務部長が議会で、調べたけれども人のミスではなく、しょうがなかったんだと。液状化があつて、どうもタンクの中の水が抜けたこともあり、地下水の浮上力に負けたと同時に液状化して水の比重がもちあがったのだろうということで、ただ第三者委員会などでちゃんと調べていない。ですから、議論するにも確かな根拠がないのです。

USN-B/創生ネットメンバーから報告を。

USN-D/11月5日に防災課に幾つかの質問をし回答を得ています。(注. 本文では集会後の市から正式回答も反映した)

先ず Q. 1 市内 3 か所にある非常用貯水槽の被害状況について聞いています。

- ・高洲中央公園についての市の回答は「貯水槽本体は 1.5m ほど浮き上がり、マンホール内の弁類にも破損が見られた。調査で判明した異常個所は遮断弁を除く設備全体にわたっており、復旧する場合には全面的な改修が必要と報告されている」とのことです。
- ・富岡中央公園については「貯水槽の浮き上がりはないが、地表面が 50cm 近く横移動したことに伴い貯水槽上部の給水設備がマンホールに接触し破損している。貯水槽上部のマンホール及び弁類、接合配管全体・緊急遮断弁の点検が必要。本年度内の補修を予定している」とのことです。
- ・総合公園については「地震又は液状化による影響はなく、異常なし」とのことです。

次に Q. 2 の質問です。」貯水タンクはそれぞれこのメーカー製かを聞いています。

- ・「高洲中央公園はコスモ工機、富岡中央公園は川崎製鉄。総合公園は把握しておりません」との回答です。ですが、総合公園の表示図面を見るとコスモ工機と思われます。

Q. 3 の質問は施工業者について聞いています。

- ・市の回答は「高洲中央公園は山崎建設。中央公園は協和。総合公園は、UR 都市整備より

移管を受けたもので把握しておりません」との回答です。

Q. 4の質問は、アエラ記事を読んだ質問です。アエラ記事によると、高洲は山崎建設が請負い、実際に工事をしたのは都内の工事業者と報道されています。そこで、それはどこかと質問しています。市の回答は「山崎建設が施工しています」との回答です。

Q. 5の質問は、Q. 6の損害賠償請求に係る質問です。

私は、8月10日にみどり公園課の方に案内していただき、ブルーシートを開け、中を見たのですが、中はぐちゃぐちゃで、83年の能代地震の際のガソリントankの浮き上がり状態と比較すると高洲の被害は一部が浮き上がるなど（能代地震ではガソリントank全体が浮き上がっている）、通常の液状化被害とは異なるように思いました。

- ・これについての回答は「被害調査の報告からボーリング調査を行った結果、ベースコンクリート位置に変位が見られないため、貯水槽の周囲で液状化が発生したことで、貯水槽全体に大きな浮力がかかり、固定していたベルトが破損し、貯水槽が浮き上がったものと考えています。また、ベースコンクリート位置に変位が見られないため、耐震性は凶られていたものの大きな浮力が原因で破損したものと認識しています」とのことでした。これは、総務委員会でしたか、その際の総務部長の話にほぼ同じです。この回答について、専門家に別に話を聴いています。それはあとでまた報告します。

Q. 6の法的措置、損害賠償を請求する気はないのか、の問題です。損害賠償請求をする場合、瑕疵担保責任の法理を使うか不法行為責任の法理を使います。その際、時効が問題となります。瑕疵担保責任は10年で時効になるのもう請求できない。不法行為責任の法理は、行為の時から20年、損害の発生を知った時から3年で時効です。去年3月に被害は顕在化しましたので、時効までに後2年弱しかない。そこで急いで原因究明し、業者に損害賠償請求をする考えはないか、聴いています。

- ・市の回答は「前問の回答とおり、工事に不備があったとは考えていない」、つまり“法的責任を問う考えはない”との回答です。この点については大いに疑問に思います。

Q. 7の専門家により原因究明を行い、その上で市民への説明が必要と考えるが、市の考えはどうか、との質問について、市側の回答は「被害状況調査から工事に不備があったとは考えていない」とのこと、専門家による原因究明も、その上で市民への説明もしない方針のようです

Q. 8、モニュメント建設についての回答です。

- ・市の回答は「東日本大震災の記憶を風化させずに後世の記憶にしっかり留めるためには、被害を受けた実際の場所に震災モニュメントとして保存することが、真実性の面などから、最も適していると判断しております。浦安市は、関東大震災、度重なる台風による高潮など幾度となく被害に見舞われました。しかしながら、これら災害は町史や市史には記録されていますが、その痕跡を街中で探し出すことはできません。被災した場所を早急に復旧することも重要ですが、それとは別に、この震災の記録を後世に伝えていくことも、市が行う重要な施策と考えています」というものです。

Q. 9、10 の質問は非常用水槽の水を震災時活用されたかとの質問です。仙台市などでは、浦安と同様の非常用貯水槽を設置してあり今回の災害時にはポンプで汲み出して使った、無くなると給水車で運び活用したとの報告があります。この関連での質問です。

- ・市の回答は「震災の翌日より千葉県水道局や自衛隊等の給水活動が行われたことにより、耐震性貯水槽は使用しませんでした」というものです。
- ・18日に順天堂看護学部で震災セミナーがあり、市長の講演がありました。その際に、この点について質問しています。市長の回答では、総合公園の非常用貯水槽は大量のごみを焼却する際に使う必要があるので使わなかったという回答でした。

Q. 10として、その他の質問です。

- ・質問状を送付し4~5日後に訪問し口頭で回答を得た際には「文書保存規程に契約金額が1億5千万円以下のものは保存期間が10年となっているので、契約書や図面は残っていないかも知れない」との話でした。そこで、図面が無いとなると保守管理上大問題となるのではないかと、エイズ事件の際の話を持ち出し、何がなんでも探して欲しいと要請していたところ、市の回答は「契約関係図書は、やはり10年保存ですので、保存はありません。また、設計図面については、3施設とも保管されています」とのことでした。
- ・少なくとも設計図面は3施設ともあるようなので、比較するとどこに問題があるのか、特に高洲と総合公園は同じタンクと思われるので、何か分かるかも知れません。

- ・最後にマスコミ取材についての市の回答は「本事業に対するマスコミの取材につきましては、報道は市の意に反して、市民対構図を描かれ、市の事業に対する意図が正確に伝わらず、結果として復興の遅れや市況に影響を与えるなど等、市民に不利益になる懸念がありましたことから、現在は取材等を受けていない状況です」というものです。

USN-B/現状把握、また新たな事実などありましたが、質問ありますか？

／日の出です。今のDさんの話を伺い、ほとんど構造上の問題はなかったと。Cさんの説明からは水の量や容積をつかい、ざっと計算したら液状化すると浮力が189トンになる。

タンクの重量とかを考えると、コンクリートとつながっているから、鉄の耐力が 67 トンを越えたがために切れた。これは設計ミスではないのか。ざっと計算したのでわかりませんが、鉄板の面積とその鉄板の耐力のそれとの関係で切れちゃったというのは、設計ミスでは？そこまで考えた方がいいと思う。

USN-B／ありがとうございます。技術的な話です。

USN-C／その通りですね。液状化水は比重が 1.7 とか 1.8 で、その力で押し上げている。貯水槽内の水も少し抜けていたそうなので、かなりの力が上にかかって貯水槽が飛び上がったと思われる。液状化の先生にも聞いてみたが、飛び上がると。

USN-D／専門家が現地を詳細に調べてみないと分からない。ある専門家にお聴きしたところによると「一般に地中構造物の浮き上がりは重力と浮力で計算する。ベルトが切れない場合には“タンク重量+水重量+底板重量”が浮力より大きければ浮上しない、と考えると、タンク周囲の液状化状況は関係ないと考えて設計しているかと思う」とのことです。

その方は「今回の液状化では、本震の継続時間が長く、また、29 分後に余震が襲ったため、液状化した地盤が 3~の周期で大きく揺れた。つまり、上下方向の動きだけでなく、水平方向の動きもあり、これによりベルトが切れた可能性もある」とのことです。「構造を見ないとよく分からない」とも言っておられます。なお、川崎製鉄製のタンクは設計思想、構造が少し違うようです。

USN-B／ありがとうございます。今日は専門的なことより、今の現状について話をしたい。

／高洲です。私たちは民間なので調査権限はないが、こういう皆さんが知恵をだし調べたら、大きなクエスチョンがでる。市民が「おかしい、どうしてこんなになったのか」ということを市が取り上げてくれないと進めない。市は不備はないということで終わらせている。あとは記憶をとどめようモニュメントを作ろうという話になるんですが、モニュメントを作って固めてしまったらまた調査出来なくなってしまう。我々がおかしいと思ったことが、だったらちゃんと調べてもらおうということ市にちゃんと言えればいいのか。

USN-B／それを後半やろうと思ったが、流れでどなたかご意見あれば。どなたかご意見ありますか？

／原発もそうですが、作った会社や管理したコンサルタントにそれに調べさせることは出来るわけですね。欠陥があった場合は無料ですよ、当然。どうして調べさせないのか。と

くに2~300万でしょ？ すぐに調べられますよ。やった人や監督が困るからでしょうね。

USN-B／貴重な意見、ありがとうございます。これは我々としては議会じゃないので、ここでは決めません。それは皆さんが気付いて学んだことをどうするかは皆さん次第。一つだけ、ここで出た意見は行政と議会の代表者に伝える。きちっと伝えることは責任を持ってやりたい。その意味でもぜひ広い観点で意見を思い切って出してほしい。ただし、ここは糾弾集会にしたくない。他に、どうでしょう？

そもそもこの震災モニュメントの目的はなんですか？記憶をとどめる、風化させない、そういう目的、市長も行政も言っている。総論的にはだれも反対はしづらいが、その手段のところなんでこのモニュメントなのか？というところですよ。その辺の目的と手段について何かご意見ありませんか？あまりむずかしく考えず、まだ発言されていない方、どうでしょう？

USN-C／本当に震災の想定できなかつたことで起きたことならば、忘れないようにするためにというのは、あり得るかもしれないが、もし、設計ミスや工事ミスだったとしたら、ミスを記憶するために残すことになってしまう。そういうことはないという確かな根拠がないと意味がない。

【4. モニュメント設立の説明プロセス 討議】

USN-B／ありがとうございます。どうでしょう、他に？あと40分で休憩しますので。

／高洲です。私たちは何の専門的な知識もなく、世間知らずですが、あそこにモニュメントを作ると聞いて、「なんで？」というほんとに単純な思いから3人でやって、3ババとっております。なぜモニュメントが必要なのか市から何の説明もなかった。私たち、特に高洲周辺に住む者にとって納得がいきません。あそこは貯水槽だったわけですが、なんの役目も果たさなかつた。後世に記憶を残すのは市の仕事であって、私たちではない。

市に請願をだしたり、署名を集めたりしました。前回と合わせ、3745集まっています。これは皆さんの切実な思いが集まっているもの。駅前で署名活動をして、最初は作ってもいいんじゃないのと言っていた人も、私たちの思いを伝えると、市のやり方はおかしいよねと署名してくれた。私たち、つたない説明しかできないが、皆さんにご理解いただけたらと思う。

USN-B／ありがとうございました。

／堀江です。先ほど、総務部長からもう検証はしたと言われていましたが、それは、どのような形で検証されたのか？それは議会での報告はあったのか、そして議員の皆さんはどのような風を感じたのか。次に後世に伝えるなら、きちんとしたものを作ってほしいし、元町、新町ではなく、町全体で考えるべき。そういう発想があつていいと思う。それは今後議会でされていくと思うが、参加していらっしゃる議員の方もいらっしゃるなので、意見を聞きたい。

USN-B／貴重な意見、ありがとうございます。

／日の出です。モニュメントを作るのは何のため？液状化したことをモニュメントとしてつくるのはわかるが、検討も十分せずやるのはおかしい。もっと原因を究明して、設計が十分でなかったらならモニュメントとして残すのはおかしい。浦安は液状化でどうなったのかということのを他の方法で表すことはできると思う。

USN-B／ありがとうございます。

水野／浦安議会の水野です。本来であれば、私、議会人ですから議会の中で議論してその結果、議会で話して皆さんに納得いただくところ、まずその責任を果たせなかったことをこの場でお詫びします。シンドラ社のエレベータ事故がありました。確か、2001年ですか、事故がありましたね。つい先日も同じモノで事故があつた。

今回1億2千万をかけて作ったものが、他の自治体でも相当数使われています。この耐震性貯水槽が機能を満たすのか、机上の空論の製品ではないのかというのを、ここ浦安では大丈夫ではなかったのなら、他の自治体でも問題はなかったのか？こうでしたから他の自治体も気をつけてということをするのができるのでは。本来、私たちはやるべきではないのか。

だからこそ、議員も全員、市の執行部も一部でも来る、それが本来ではないかと思う。今いただいた意見を私たち議会人がしっかりと伺って帰っていこうと思う。党派を超えて、しっかり皆さんの意見を聞きたいと思う。

USN-B／将来は大ホールで、議会の人と市民とで行いたい。だんだんと盛り上がってきましたが、今からクールダウンする意味で10分間休憩します。お茶やお菓子はセルフサービスで。それから、休憩前にアンケートを見てください。200, 300人規模でシンポジウムができるように、町名などは特に書いてください。2番目、今回の集いに参加してどういう気

づきや学びがあったか。その気づきを今後どう活かすか。討論する前と後でどう意見が変わったか、そういう調査方法もあるので、ビフォーアフターを尋ねたい。

今後、市民討論会で取り上げてほしいテーマがあれば、もっとこれが大事とか、もっと大事なものがあれば。それからこの運営の進め方など、できるだけアンケートや今後発言してほしい。では、51分まで休憩。BGMを流しますので心を癒して。

(再開)

USN-B/この会は16時には終わりたいので、よろしくをお願いします。これからどうするかという話をしたいので、15時40分くらいまで。あとで発言しようと思ってももう時間ありませんので、まだ発言していない方を中心に。いま前半でいろいろ技術的なもの、行政の回答等いろいろ出ました。後半はモニュメントをどうすればいいのかということについて発言したい。どうしても早めに帰られる方で発言されたい方はよろしく。

/舞浜です。この特殊な問題について大変興味があり、地域外ですが来ました。今、たまたま私が市の中で多くの人たちとやっているテーマが景観。新しく町をどのように美しくするか、あるいはまずいところをどうなおしていくかに焦点をあてて、景観法という法律ができ、浦安市でも色々やっている。どのポイントどういう景色であれば残したいのか、残すべき価値があるかみんなで考えるということで活動している。

そういう立場で今回の問題を考えると、私自身が住んでいる舞浜地区が大変にぐちゃぐちゃに破壊された。皆さんのようにいわゆる1ポイントを残すか残さないかの枠を越えて、3丁目であれば全域で上がったり下がったりしているのでそういう時に、いったい我々は震災前に良い街だったのを、それをどういう風に復興させていくのかという問題に直面している。今でも道路が激しく隆起、陥没していたり周辺部での防火水槽が激しく割れたりなど誰が見ても被害の状況はひどいものがいっぱいある。

今のところ市も住民も塗りつぶして何もなかったようにしているが、災害は日本では古来いつでもあるので、大なり小なり皆どこでも経験しているので、舞浜の例から言いたいのは、我々が生きている限り後世に伝えるものというのは、悪いものでも残していくべきではないか。ひどいものをひどいままに残すのがいいのかどうかは住民の考え方による。しかし「なし」にするのだけはやめたほうがいいと思う。

USN-B/他に舞浜地区から来られた方、いらっしゃいますか？

／入船です。舞浜の方もおっしゃっていたんですが、入船も大規模に傾きました。モニュメントの話聞いたときに、なんでいるの？と思いました。30cm 傾いた私の家のほうをモニュメントにしたらどうかと思いました。(笑) 30cm も傾くと、ベッドも座布団を置かないと眠れない。こんな液状化をしないということを後世に残すなら、一軒まるまる市が買って、これが液状化だとしたほうが良いと思う。

もうひとつ、東北の方でモニュメントを置くかどうかというときに、そこは人が亡くなられたところで、でも、津波がここまで来たということで残すという、ものすごく大変な問題で話し合いがされたが、モニュメント、液状化したから残したいという形だけで残すのはレベルの低い意見です。

先ほど水野議員がおっしゃっていた、他の街とかでこういうことをやっているところ、この水槽を使っているところ。浦安はいろんな町と震災を通じ提携している。こういう水槽でやっているところに、「お宅はどうなんだ？」と他の地域に聞いてみるのはどうなのだろうか。関係のところ、行政の方は連携をとって聞いてほしい。ネットワーキングを広げたほうが良いのではないのか。そういうことをやったら、こちらのやっていることが向こうにも役に立つし、お互いにとって良いのでは。

USN-B／ほかの市で何か情報をお持ちのかた？

／他の市の被害状況は専門誌にはけっこう情報が出ています。専門の方が調べたものがある。あと舞浜のかたの発言で気になっていますが市議会で議論してほしいことがある。道路がなかなか進まない。それで、浦安はそれでイメージがダウンし若い人が逃げている。道路工事を早めてほしい。

浦安市が市民を巻き込んだお祭りをしている。あそこに市の職員が来ていて、これはその分道路工事に行く監督が減る。だから市の職員を動員するお祭りは 2 年くらい減らしていくなど、道路が遅れるのでこれは市議会で議論してほしいと思う。

／高洲です。本当に主婦が活動を始めて、思いがけずいろんなマスコミから取材を受けている。ラジオや新聞、そういう経験もした。そこで、論点に今ふさわしいかわかりませんが、この活動を通しての感想を一言。

まず、市役所に署名を届けました。今まで 3 回ほど届けているが、まずは市長にじかに渡したいと言ったが、それはかなわず、総務部長さんに渡していた。渡したすぐその場で、署名は受け取るが、工事の中止も中断も行いませんと言われた。えっ、私たちこの場でそ

んなこと言われるんだと思ったので、この活動をどのように受け止めていますか？と聞いたところ、反市長派に利用されていると言われた。私たちは本当に驚いた。そういう風に受け止められていることにびっくりした。

ちょっとびっくりしたので、そうではないと言ったが、結果的にそうだと言われた。だからということなのか、今まで何度となく近隣住民に説明会をとっているが1回も開かれていない。市民の多くがモニュメントをどうしても作りたいという説明があれば、私たちも絶対に作るなというわけではなく、お互いの理解が深まる場があればいい。ただ、そういう場が一回もないまま、ある意味一方的に決められ10月に着工してしまった。私たち、こういう活動をして3,700名もの署名を集めたのに、これは一体なんだったんだろう？と虚しさを感じている。

さっきパソコンで見せてもらった方もいると思いますが、フジテレビで気仙沼では市長さんが自分の思いを語っている。気仙沼では市長が反対住民の気持ちもわかる、だから時間がほしいと、悩んでいると。そういうことが伝わってくるならいいが、私たちはとにかく説明会がないまま検証もされないまま、一方的に始まってしまった。そこに非常に市の姿勢をあらためて感じた。そこに対してある種の市政の在り方が主婦の目からおかしいと思うことはこれからも行動していきたい。(拍手)

USN-B／手続き上の問題もたくさんある。

／市会議員の広瀬です、美浜に住んでいます。市のお金の流れだけはしっかりしましょうと思っています。山武市には2つの学校が貯水槽を持っていて、1つは表にでたわけではなく、継ぎ手、ホースをつけるところが壊れて、やはり、震災の影響で使えなかった。今回のモニュメントをどうするかという問題、一番の基本は公園を作るときには浦安市の方針として、地域住民と一緒に作るとなっている。

高洲中央公園は、周辺の皆さんと話し合っ作っていくというある意味権利があるので、市はまず地域の人たちに話しかける。マンションや戸建てを買うときに、下に貯水槽があるなんて知らなかったこと。あの公園は、24台駐車場があるということで知られていたが、今回の震災でとんでもない模様替えになってしまった。そのところを推し進めていかなくてはいけないと思う。

USN-B／ありがとうございます。ほか何かありますか？

／市外に住んでいる東久留米市から来た。女性が今回立ち上がっていると聞き、女性人材

育成の社団法人から来ました。これからも自分の住んでいるところを誇りに思っただけでもらい、次世代につなげてもらいたいと思います。モニュメントを作るということは、貯水槽がそこに次のものがもうできないということですよね。必要があつて作ったにもかかわらず、もう1つ新しい貯水槽を作れないのはどうかと疑問に思った。

私の住んでいる東久留米市には地下水が豊富にある。災害の時にはそこからというのがあがるが、その水をどうやって使うの？水道が止まるだけでなく、電気も止まる。そのとき、発電機などどうするのか。そういう疑問がわいたので、パーゴラという小屋を作り、発電機、ポンプをいつでも稼働できるように、市でもメンテナンスできるものを作った。

高洲にも富岡にもそういうものはないと聞いております。実際に何かあつても使えない貯水槽ということになりますね。それを今後どうするかということも話題になっていないように思う。モニュメントを作ることにより、その公園は公園として安全に使えるのか。公園というのは子供が遊んだり憩いの場となるが、安全性や公共性が失われる可能性をどう見るのか、そういったことを市や市議会で発言があつて、吸い上げられているのか、非常に疑問視させていただいたところ。

もうちょっとだけ。そういう声が挙がらない市の行政というのは、このままでいいのかということ、ここで参加されている方は参加意欲がある方が大勢集まっているが、そうではない方たちにどうやって知らしめていくのか。方針というか、どうやって広めていくのか、また200名、300名の講演会につながると思う。その辺もご意見がでてくるといいのでは？
(拍手)

USN-B／浦安市以外の方にも来ていただいて、ありがたいです。

USN-D／水問題について補足します。市は「高洲の貯水槽は使えない」とは言っていません。使わなかったということです。今回の震災で最も困ったのはトイレ問題と水の確保です。そこで、広域避難場所には大深度井戸を掘って貰えないか、自己完結型の土壌浄化法による浄化設備を作って欲しいと市に要望しています。大深度井戸問題については、昭和40年代に葛西の工場で地下水を大量に組み上げ、浦安地区でも地盤沈下が大問題になっていますが、非常時の使用に備え井戸を掘って欲しい、水の確保とトイレ問題は何とかして欲しいと要望しています。

／高洲です。この公園は、私が住んでいる4丁目の3番地の3にあります。私は同じ4-3に住んでいる。同じ敷地の中に私は住んでいるんです。実際に市議会で反対された市議の方々は、14名おられると聞きました。その人たちは固定資産税をすごく安い値段で払って

いる方々。私どものマンションはどんな方でも10万以上払っている。730戸あって、毎年約1億円近いお金が税金として払っている。

市議会で14名のかたはどのくらい固定資産税を払っているのか想像したところ、たかが100万か150万、年間にですよ、14人で。せいぜい、200万です。そういう人たちの意見を取り入れて、私たちの意見を取り入れないのはおかしい。ぜひ納税をしている私たちの意見を聞いてくだされば、市長もわかると思う。納税は国民の義務です。特に固定資産税はどこに入りますか？国には行かない。市のほうに行きます。ありあまったお金をふんだんに使い、なぜこのようなマンホールを改修する工事をするのか、まったくわからない。これは千葉県東葛飾群の浦安の考え方です。これはひどいです、

USN-B／非常にわかりやすい。いいですね。納税者の立場から。時間がないので、どうぞ。

／日の出です。実は、司会者の方に誘われて来ました。いろんな意見があると言われた中の最後の意見の持ち主です。私は司会者に誘われなければこなかった。今回、この話を聞き、発言されたかたのなかで高洲の主婦の方の意見には賛同しました。その方だけに拍手をしました。後の方の意見は、それぞれあると思いますが、それは残念ながら今日ここにでていっているのは、一般的にそれに対する反対とかが大半を占めている。私が賛同したのは、その方の言われた、市が一方的だという意見にだけでした。したがって、私もこの場で発言できる部分というのは、おかしいんじゃないの行政は？ということになってしまう。残念ながらそうじゃない意見は今日のこの場では出てこないと思う。私も色々と思っていることはあるが、そういう意味ではこの場の議論は市長や議会に届けるということなのでそれはいいと思うが、なかなか双方向にやるためにはもう少し運営方法を考えたほうがいいと思う。

USN-B／ありがとうございます。

／今の意見、僕も賛成です。基本的に考え方は色々あっていい。私も見て一番気になるのは、冷静にみんなは話し合う場がない。だから、地域の問題を、地域の人たちが話し合う、そういうプラットフォームがないのが浦安の問題。今度の震災で、浦安市はきれいな街でうわべ華やかですが、地面が弱いということがわかってしまった。住民が自分たちの街を冷静にきちんと考えて、それを反映した行政をやっていくということがそれがものすごく弱い街だというのが、3ババの人たちを見ていてそう思った。素朴に自分たちの意見をどうして聞いてくれないの？というきわめてまっとうな話が通らない。

実はこれだけでなく、私は高洲に住んでいるが前は入船にすんでいたが、あそこの北小学

校がなくなる。その跡地をどうするかということも問題だが、皆で考えようというプラットフォームがない。広報うらやすで発表された時には取り返しがつかないようなことになるのでは。意見の違いはたくさんあって、結果的にこの集会は一方の考えの人だけと言われるが、本当はどうやったらみんなが集まれる場ができるのかが一番の課題。双方合意の場をどう作っていくのか。自治体や市長が旗をあげることが大切なのに、残念ながらそういうふうになっていないのをどうするか、考えていかなきゃいけない。

／この前、市庁舎についての市民の話し合いに出た。市庁舎の方は 113 億という話を聞いた。失礼ですが、貯水槽はせいぜい 5 億、10 億の話。業者もきまり、開始してしまっている。市庁舎はまだパッケージが決まったとか、113 億とかそういう段階の話。

さきほどの「場がない。」ということですが。市会議員にお願いしたいのは、市会議員が議会の中で話すのはいい。そうでない場でも賛成、反対の意見の市議たちに集まってもらいたい。一緒に行こうやと反対の方も誘って来てほしい。

USN-B／他に。

／日の出です。今日の話は貯水槽の話ですが、私がむしろ気になっているのは、今回、今度地震がきて液状化が起きても大丈夫なようにする復興計画を立てているが、道路に関しては幹線道路のみであることです。いま浦安の道路で被災地にあった道路は 112 km。そのうち、幹線道路は 17 km くらい。ここは液状化対策をしても、残りの生活道路 90 何キロは元に復旧はするがそれ以上はやらないということ。ある方が 112 km やった時の費用を簡単に試算したら、100 億台ぐらいでできそうと。今浦安イコール液状化と言われているが、減災という観点でもそのレベルぐらいまではやらなくてはいけないのではないかと。貯水槽も大事かもしれないが、さらに大きな視野で、議会や行政は浦安をどう守っていくか如何にイメージを回復するかという観点で考えてほしいと思います。(拍手)

USN-B／ちょっと待つて。はい。

／市議の折本です。私は前にいらっしゃる 3 ババの方が「こんなおかしいことがあるんだけど、どう思われますか？」と相談があり、私もモニュメントには反対なのでということで、紹介議員ということで、委員会でも、総務委員会での 6 人の質疑を受ける立場で今まで 2 回の委員会を筆頭紹介議員として出ました。

その中で、請願者の主旨や意図、質疑とかは、まったくといっていいほどなく、言葉尻をとらえたこととか、原爆ドームだって残っているではないかなど。後は、本当にこれがモ

ニュメントとしてどうなのかとか、そういうことに対しての請願者の気持ちをくんだ意見はなくとも簡単に否決された。そういうことは今回のこのモニュメントだけではなく、それも議会全体は語弊があるかもしれませんが、皆さんが一般的に思っているような市政に対しての二元的にやっている議会の役割が私は果たされていないと、そういうところが今回の請願の否決になった顕著な例ではないか。

本来ならば議員というのは市民の代表として出ているわけですから、送り出した市民の方々がその議員がどういう働きをしているかちゃんと選挙のあともチェックし、次の自分たちの意見の反映に送り出す人としてその人たちがふさわしいのかどうか、ということ判断するよう有権者の方々にお願いしたい。モニュメントに関わらず、議会の機能としてそういうことを考えていただきたい。

USN-B／まだ発言していない方、お願いします。

／議員の元木です。針のむしろにいます。議員としての責任をこういう場では感じます。私も請願を 2 回ほど出されて、私が直接かかわる委員のメンバーの一人です。今日何が問題かということで 3 点ほど指摘があったことは、私もそのように思ったので、予算審査の時に課題として行政当局に私も指摘はしてきた。

だからといって、特別の調査をして「おかしいじゃないか」と迫ってきたこともないので、こういう所に参加させてもらい、針のむしろに座っているというのが実情です。今日ご指摘いただいたこと、沢山ありますが、検討の過程の段階から市民を巻き込み、どうなのかということが市政の責任者には求められるが、我々議員にも求められる。「皆さん、どのようにお考えですか？」と皆さんの意見を常にアンテナを張りながらいることが我々の使命だが、日々反省しています。

USN-B／別に、きょうは議員の糾弾集会ではないので。議員も、一市民として一言発言をしていただきたいと思います。あまり議員、議員というつもりはありませんので。

／県会議員の矢崎です。明海の 3 丁目に住んでおります。だんだん発言しにくくなっていますが(笑)、私は市議会ではないので、一市民として。市民の皆さんにちゃんと伝わらず、話をしてくれと言ってもそういう機会を設けない。また、貯水槽を地震のために用意したわけですが、使えなかったことについて、これは検証すべきは行政の問題だと思う。その辺が一切なく進められていることは問題だと、市に猛省を促したい。今後、こういった会議に参加しみなさんの声を聞きたいと思います。

USN-B／ありがとうございます。

／浦安市議会議員を務めております柳です。改めてこの問題は小さくないということを言いたい。何度もでたが、水とトイレの問題は液状化で困ったことだったことを忘れてはいけない。安心・安全をどう担保していくか、これは、水が使えなかったということ、次の地震が起きたときに自衛隊の供給がまたなされるかわからない。

今後、高洲地区の水はどうしたらいいのか対策を講じないといけない。原因をちゃんと調査してなぜ機能しなかったのか、それは構造上の問題なのか、だいぶ昔に作ったので市職員の運用がうまくいかなかったのかなど、その原因を究明していかねばならない。本当にこういう市民集会在、技術的な部分も含め行政の代替をしていると思うので、私も勉強させてもらっている。市に届けていただき、このまま続けていって欲しいと思う。

USN-B／では市民の方。

／地域のことですごく感じるがありますが、自治会とかがあっても連携プレーがなくて、質問しても全然答えが返ってこなかった。昔はご近所会では協力がありましたが、ご近所会の会長さんがやってくれた。会長さんや班長さんなど連携プレーがとれるようにしてほしい。よろしくお願いします。

USN-B／ハードな部分とソフトな部分の問題ですね。かなり議論が盛り上がりましたが、今日はこれで全員発言してもらいましたね。今後もこれを大きくしていきたい。アンケートにもよろしく。司会もまずかったんですが、今日は決議を出す場ではないので。では、今後のテーマなどについて E さんにバトンタッチ。

【5. 今後の活動について 討議】

USN-E／浦安創生ネット E です。事務局ですので、言いたいことが言えなかったが一言。伺っていた中で、「なにかおかしいな」と言う方がいて、東久留米から来られた方もそれに似たご発言をされました。要するに、皆さん、自戒の意味を込めて言いますが、ほとんど、浦安市民は危機感を一切持っていないことだと思います。行政も議会の皆さんも市民も、まったく危機感ゼロ！これ、民間企業ならあり得ない。

危機感ゼロ、それで、これをどうしていくかということですが、市民がどのぐらい関心を広げていくかにつけると思う。ここ以外に行政のレベルアップも議会のレベルアップも選

挙のレベルアップなどできない。自戒を込めて言うと、私は今日娘夫婦を連れてこなかったが、皆さん方も皆さんだけが出てきた。から、ここは1つ、浦安創生ネットからのお願いですが、どう、この30代、40代の若者、また、あるテーマに関してだけでなく、市全体に市の問題を考えさせるにはどうしたらいいか、どう集いに集まってもらうかを考えていかねばならない。

集いは今後、我々の計画では、継続的にほぼ定期的に、年間を通じてやっていきたい。この中にどう30、40代の人たちを連れ込むテーマなり、タイトルなりを、どういうものを持ってくれば、よく集まってもらえるのか。どうテーマを設定するか、どうアプローチしていくか、皆さんの意見を10分しかないが頂戴したい。いかがでしょう？次はこういうテーマでやってほしいとか、ありましたら、我々、参考にしていきたいので、どうですか？高額納税者の方、いかがですか(笑)？

／私は3人の女性の力はすごいエネルギーだと思います。これからの日本をいろんな意味でしょって立つのは女性だと。(拍手)若い方に是非伝えていただき、我々の集いに誘う。結婚後間もない方など、女性は強いですよ、本当に感心します。是非、女性の力で結集してほしい。はるかに女性は強く、素晴らしい。ぜひひとつ、この方々に続く女性が集まれるような話題を提供いただく。今日は300円を集め満員かと思っておりましたが、この人数ではどうにもならない。

USN-E／他に何かございますか？自治会にどうアプローチするかということ。USNでは、そういうこともちょっと考えていけないといけない。

／私たちのモニュメント建設反対運動は、ある方にとってみては、くだらないものかもしれませんが、多くの方たちに市政とはどういうものかを理解してもらえた。駅の前で署名を集めたときも、怒りをぶつけて署名してくれた方もいた。私たちの運動も決して無駄ではなかったと思う。微力でしたが、今後も何かのお役に立てたらいいです。(拍手)

USN-E／あと5分ぐらい。

／過去に三番瀬をラムサール条約に入れようとしたがダメだった。3年後にまたやろうと思っている。署名については、かなりのことをやってきて、名前も「三番瀬を守る署名運動」という名前でやっている。三番瀬は国の宝、浦安の宝です。街作りのなかの一つだと思いますので、ぜひよろしく。

USN-E／貴重なご意見、ありがとうございました。三番瀬はテーマとして、子供や環境が

関係しますから、そういうのをやるのも一つかなと思います

／船橋では10万人くらい集まっている。

USN-E／ありがとうございます。あと一人くらい、最後にお願いできますか？若い女性が・・・何でもいから。

USN-E／若いおふたりの方はご来場いただけただけでもありがたい。若い方々、これからも仲間を引き連れてきていただきたい。時間がございませんので、打ち切りますが、お帰りの際に書かれる用紙に、どんなテーマでもけっこうですので、一人1テーマ書いていただいて、よろしくお願いします。

USN-A／長時間お疲れ様でした。最近、討論型世論調査、討論型民主主義という動きがある。滋賀県で原発についてやったこともあります。あるテーマについて地域住民を無作為に選び、年代もばらばら、地域もばらばらの人を選んで、たとえば、今日のCさんのような専門的な報告とか行政からもこう考えているなども聞いたうえで、グループ・ディスカッションをしたりして意識の変化をとらえ、幅広く世論をみきわめるというやり方です。今後このようなこともトライしていきたい。

それを挨拶にして終わりにしたい。最後に今日の話で市長に聞きたいことなどありましたら、出口に用紙があって郵便代もいらないので、ぜひ出してください。

今日はありがとうございました。(拍手)

あす
北西部
北東部
南部

〒260-0013
千葉市中央区中央3-4-8 コーノビル4F
電話:043-224-8155 FAX:043-225-2271
Eメール:chiba@tokyo-np.co.jp

通信局・部
市川 047-334-4146 銚子 04
船橋 047-410-1631 木更津 04
松戸 047-344-0117 柏 04
成田 0476-23-0866

購読のお申し込み:0120-026-999 集金・配達お問い合せ:03-6910-2556 広告のご用命:04

隆起の貯水槽 保存賛否

浦安市計画で市民の集い

3.11から

液状化被害で地中から浮き出た貯水槽の保存は是非か。東日本大震災のモニメントとして保存計画を進める浦安市に対し、住民の賛否が分かれている。二十五日には考える市民の集いが開かれ、双方の立場から意見が交わされた。

貯水槽はJR京葉線新浦安駅から南に約一・五キロの高洲中央公園



の駐車場にある。飲みどめるため」と、モニメントとして残すことを計画。来年三月までの整備を目指している。

しかし、住民には異論もある。二十五日の集いは約四十人が参加し、「一方的に決められた」「貯水槽が崩壊した原因をきちんと調べべきだ」といった慎重論も相次いだ。一方で「ひどい物でも歴史的に残しておくべきだ」と賛成論もある。

①昨年3月、液状化で地中から浮き出た貯水槽 ②マンホールの震災モニメント化について意見を交わす市民ら―浦安市で



「浦安だけでなく、被災した他市の状況も調べて議論したらどうか」との声も上がった。主催したのは震災を機に発足した市民グループ「浦安創生ネット」で、集いで出た意見をまとめ、市や市議会に届けるといふ。(村上一樹)